

小規模企業の景況

(2023年7～9月期)

大阪商工会議所による小規模企業の景況調査(四半期毎)2023年7～9月期の結果概要は以下の通り。今期(2023年7～9月期、調査基準日:9月1日)の業況判断DIは▲3.6と前回調査から3.6ポイント改善し、2期連続で上昇した。売上額DI値は7.6(前回調査から1.5ポイント改善)、資金繰りDI値は▲9.0(前回調査から0.3ポイント改善)、従業員過不足DI値は▲11.2(前回調査からプラス0.6ポイント)となった。「経営上の問題点」では、「原材料価格の上昇」が製造業で8期連続となったほか、「仕入単価の上昇」が卸売業で6期連続・小売業で5期連続、「材料等仕入単価の上昇」がサービス業で3期連続第1位となった。

1. 今期(2023年7～9月期)の状況

【売上額】今期(2023年7～9月期)の売上額DI(全産業)は、前回調査(2023年4～6月期の6.1)から1.5ポイント改善し、7.6となった。業種別では前回調査から、サービス業が11.9ポイント、小売業が4.7ポイントそれぞれ改善し、製造業が4.0ポイント、卸売業は8.1ポイントそれぞれ悪化した。

【資金繰り】今期の資金繰りDI(全産業)は、前回調査(▲9.3)から0.3ポイント改善し、▲9.0となった。業種別では前回調査から、製造業が5.4ポイント、サービス業が1.3ポイントそれぞれ改善し、卸売業は4.8ポイント、小売業が1.8ポイントそれぞれ悪化した。

【業況判断】今期の業況判断DI(全産業)は、前回調査(▲7.2)から3.6ポイント改善し、▲3.6となった。業種別では前回調査から、製造業が4.0ポイント、卸売業が6.7ポイント、小売業が7.5ポイントそれぞれ改善し、サービス業が2.6ポイント悪化した。

【従業員数過不足】今期の従業員数過不足DI(全産業)は、前回調査(▲11.8)からプラス0.6ポイントで▲11.2となった。業種別では前回調査から、卸売業が3.4ポイント、小売業が2.9ポイント、サービス業は1.1ポイントそれぞれ改善し、製造業は4.0ポイント悪化した。

2. 来期(2023年10～12月期)の予想

来期(2023年10～12月期)の全産業の予想DIは、売上額1.8、資金繰り▲7.6、業況判断は▲10.8となった。

3. 経営上の問題点

製造業で「原材料価格の上昇」、卸売業・小売業で「仕入単価の上昇」、サービス業で「材料等仕入れ単価の上昇」が第1位となった。

※DI値とは……ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、本調査では前年同期(2022年7～9月期)と比較して売上額、業況判断、資金繰りなどが「増加」「好転」したなどとする企業割合から、「減少」「悪化」したなどとする企業割合を差し引いた値である。

本件担当：大阪商工会議所 中小企業振興部 経営相談室 06-6944-6451

【調査の概要】

- ・調査名：第173回中小企業景況調査（中小企業庁・中小企業基盤整備機構）
 - ・調査時期：2023年8月22日～9月1日（前回：2023年5月23日～6月1日）
 - ・調査方法：経営指導員による、調査票に基づく聴取り調査
 - ・調査対象：大阪市内の中小企業・小規模事業者
 - ※ 全国7,896件中、大阪商工会議所分324件。
 - ※ 本紙では、大阪商工会議所分のうちとくに小規模事業者（従業員：製造業20人以下、商業・サービス業5人以下）277件について取りまとめた。
- 〔製造業75件、卸売業62件、小売業65件、サービス業75件〕

■DI推移（全産業）

	170回調査	171回調査	172回調査 (前回)		173回調査 (今回)	
	2022年(R4) 10～12月期	2023年(R5) 1～3月期	2023年(R5) 4～6月期	2023年(R5) 7～9月期	2023年(R5) 7～9月期	2023年(R5) 10～12月期
売上額（増-減）	-10.3	-13.5	6.1	9.7	7.6	1.8
資金繰り（好-悪）	-20.0	-20.5	-9.3	-7.2	-9.0	-7.6
業況（好-悪）	-16.6	-25.0	-7.2	0.0	-3.6	-10.8
従業員（過-不）	-13.1	-13.2	-11.8	—	-11.2	—

■経営上の問題点

順位	製造業	件数	卸売業	件数	小売業	件数	サービス業	件数
1位	原材料価格の上昇 →	23 (24)	仕入単価の上昇 →	26 (25)	仕入単価の上昇 →	17 (13)	材料等仕入単価の上昇 →	13 (10)
2位	従業員の確保難 ↑	9 (7)	需要の停滞 →	15 (10)	消費者ニーズの変化への対応 →	9 (10)	利用者ニーズの変化への対応 ↑	10 (8)
3位	需要の停滞 ↓ 生産設備の不足・老朽化 ↑	8 (10) 8 (7)	小売業の進出による競争の激化 ↑ 販売単価の低下・上昇難 ↑	3 (2) 3 (2)	大型店・中型店の進出による競争の激化 →	8 (9)	需要の停滞 ↓	9 (9)

[注]（ ）内は前回（2023年4～6月期）調査結果

↑ = 前回より高順位

→ = 前回と同順位

↓ = 前回より低順位

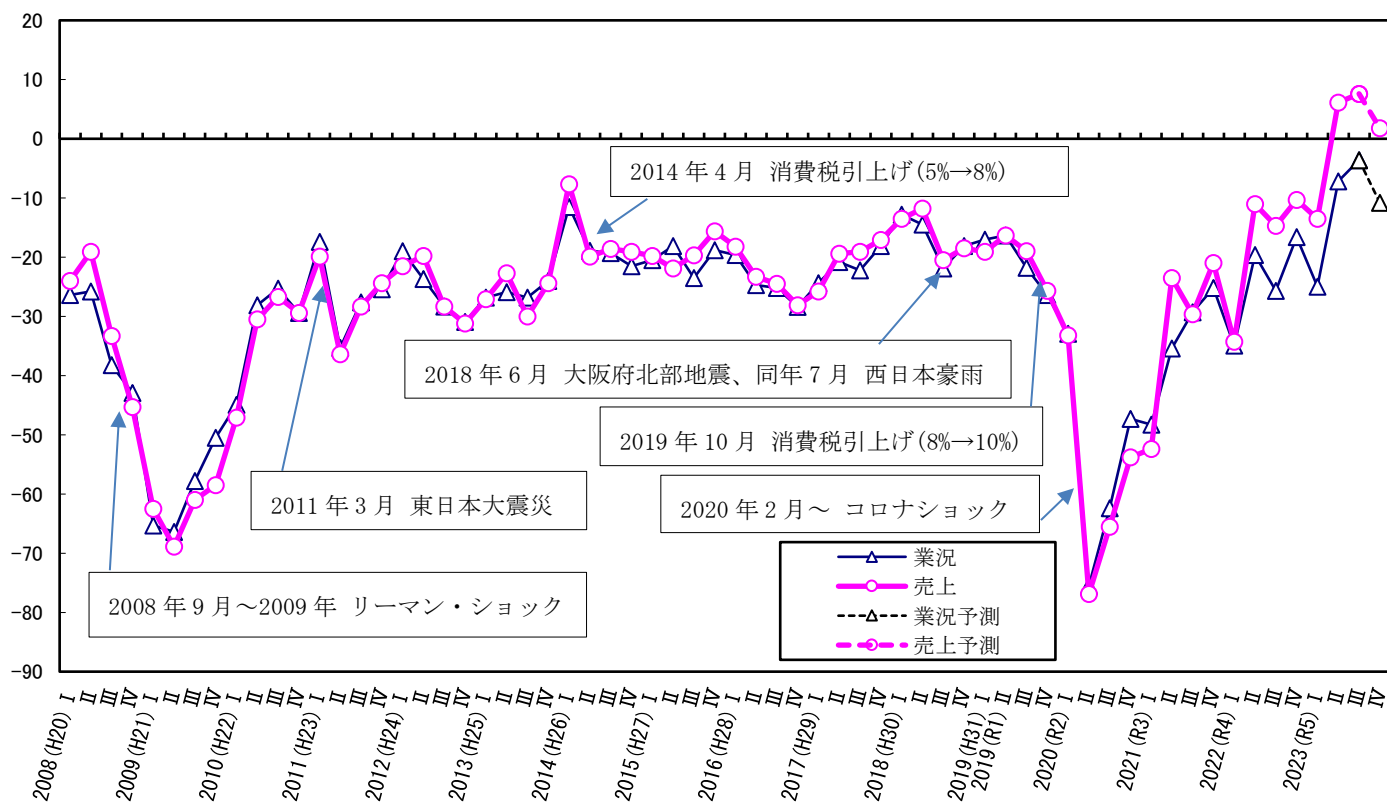
■ 状況比較表（業種別）

項目	業種	今期の状況(7~9月期)				前回(4~6月期)からの推移	来期の予想(10~12月期)			
		増加	不変	減少	増-減		増加	不変	減少	増-減
売上額										
	製造業	34.7	34.7	30.7	4.0	▲ 4.0	22.7	44.0	33.3	▲ 10.7
	卸売業	32.3	32.3	35.5	▲ 3.2	▲ 8.1	25.8	46.8	27.4	▲ 1.6
	小売業	36.9	33.8	29.2	7.7	4.7	33.8	36.9	29.2	4.6
	サービス業	44.7	30.3	25.0	19.7	11.9	32.9	48.7	18.4	14.5
	合計	37.4	32.7	29.9	7.6	1.5	28.8	44.2	27.0	1.8
	前回	34.4	36.9	28.3	6.1		33.7	41.9	24.0	9.7
資金繰り		好転	不変	悪化	好-悪		好転	不変	悪化	好-悪
	製造業	6.7	81.3	12.0	▲ 5.3	5.4	4.0	85.3	9.3	▲ 5.3
	卸売業	4.8	80.6	14.5	▲ 9.7	▲ 4.8	6.5	79.0	14.5	▲ 8.1
	小売業	6.2	64.6	26.2	▲ 20.0	▲ 1.8	9.2	61.5	26.2	▲ 16.9
	サービス業	13.2	69.7	15.8	▲ 2.6	1.3	17.1	63.2	18.4	▲ 1.3
	合計	7.9	74.1	16.9	▲ 9.0	0.3	9.4	72.3	16.9	▲ 7.6
	前回	8.2	72.4	17.6	▲ 9.3		8.2	75.3	15.4	▲ 7.2
業況		好転	不変	悪化	好-悪		好転	不変	悪化	好-悪
	製造業	16.0	57.3	26.7	▲ 10.7	4.0	9.3	58.7	29.3	▲ 20.0
	卸売業	22.6	48.4	27.4	▲ 4.8	6.7	11.3	56.5	25.8	▲ 14.5
	小売業	27.7	40.0	30.8	▲ 3.1	7.5	23.1	38.5	36.9	▲ 13.8
	サービス業	28.9	46.1	25.0	3.9	▲ 2.6	25.0	52.6	21.1	3.9
	合計	23.7	48.2	27.3	▲ 3.6	3.6	17.3	51.8	28.1	▲ 10.8
	前回	20.8	49.5	28.0	▲ 7.2		20.8	54.5	20.8	0.0
従業員		過剰	適正	不足	過-不					
	製造業	0.0	81.3	14.7	▲ 14.7	▲ 4.0				
	卸売業	3.2	83.9	8.1	▲ 4.8	3.4				
	小売業	1.5	75.4	7.7	▲ 6.2	2.9				
	サービス業	2.6	73.7	19.7	▲ 17.1	1.1				
	合計	1.8	78.4	12.9	▲ 11.2	0.6				
	前回	1.8	78.9	13.6	▲ 11.8					

「今期の状況（除従業員）」は2023年7~9月期状況であり、前年同期の2022年7~9月期との比較。来期の予想は2023年10~12月期予想であり、2022年10~12月期との比較である。

「前回」欄は2023年4~6月期調査の数字。従業員は、過去との比較ではなく、業務量に照らした過不足。

■景況グラフ（売上額・業況）



※表示値=D I（増加・好転－減少・悪化）値

※ I 期=1-3月、II 期=4-6月、III 期=7-9月、IV 期=10-12月

※2023年IV 予想値